

浪花みやげ  
二

76  
1538  
2





浪花 市中 凡積胸の筭并盤

○大坂市中家数凡九拾二万余軒  
 同人數凡百三万余人  
 女六千之

**商人**  
 家数 凡拾万余軒  
 人數 凡四十五万余人  
 欲張 七分通  
 安房 八分  
 正直 三分通  
 發明 二分

**職人**  
 家数 凡拾万余軒  
 人數 凡四十五万余人  
 のら 八分  
 上手 七分  
 下手 九分

**勤人**  
 家数 凡拾万余軒  
 人數 凡四十五万余人  
 出家 凡拾万余  
 上手 九分  
 下手 九分

**医者**  
 凡拾万余  
 病人 凡三万  
 役者 凡八百人  
 按摩 凡一万軒  
 得意 四分  
 得意 六分

**素人**  
 凡三万  
 持丸 大凡のり凡十軒  
 中凡のり凡十軒  
 密凡のり凡十軒

**賣女**  
 凡三万  
 貧乏 中凡のり凡十軒  
 密凡のり凡十軒

**出生**  
 凡三万  
 死去 凡三万  
 乞食 凡三万

**貧乏**  
 凡三万  
 乞食 凡三万

**貧乏**  
 凡三万  
 乞食 凡三万

**男**  
 凡三万  
 女 凡三万  
 山の非 凡三万  
 換着者 凡三万







# 錢相切割十露盤の字

八文 <small>の付</small> 百廿四文	九	百十	文 <small>六八</small>
八文 <small>あり</small> 百廿三文 <small>二六</small>	九文 <small>あり</small>	百十	文 <small>〇八</small>
八文 <small>一ト</small> 百廿二文 <small>八一</small>	九文 <small>一ト</small>	百〇	文 <small>九</small>
八文 <small>下ト</small> 百廿一文 <small>七九</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>九</small>
八文 <small>二ト</small> 百廿一文 <small>七三</small>	九文 <small>二ト</small>	百〇	文 <small>三九</small>
八文 <small>下ト</small> 百二十文 <small>六六</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>八</small>
八文 <small>三ト</small> 百十九文 <small>六六</small>	九文 <small>三ト</small>	百〇	文 <small>七</small>
八文 <small>下ト</small> 百十八文 <small>九七</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>七</small>
八文 <small>四ト</small> 百十八文 <small>二八</small>	九文 <small>四ト</small>	百〇	文 <small>六</small>
八文 <small>下ト</small> 百十七文 <small>六</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>六</small>
八文 <small>五ト</small> 百十六文 <small>九</small>	九文 <small>五ト</small>	百〇	文 <small>六</small>
八文 <small>下ト</small> 百十六文 <small>三</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>六</small>
八文 <small>六ト</small> 百十四文 <small>九七</small>	九文 <small>六ト</small>	百〇	文 <small>四</small>
八文 <small>下ト</small> 百十四文 <small>二八</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>四</small>
八文 <small>七ト</small> 百十三文 <small>六</small>	九文 <small>七ト</small>	百〇	文 <small>三</small>
八文 <small>下ト</small> 百十三文 <small>〇八</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>三</small>
八文 <small>八ト</small> 百十二文 <small>八</small>	九文 <small>八ト</small>	百〇	文 <small>二</small>
八文 <small>下ト</small> 百十二文 <small>四八</small>	九文 <small>下ト</small>	百〇	文 <small>二</small>
八文 <small>九ト</small> 百十一文 <small>八</small>	九文 <small>九ト</small>	百〇	文 <small>一</small>
八文 <small>下ト</small> 百十一文 <small>二八</small>	九文 <small>下ト</small>	百	文 <small>〇</small>

換元... 可... 記... 備





日本 天満宮鎮座

大坂	江戸	三州	江戸	堺	摂州	三州	長崎	京都	長門	加州	江戸	遠州	防州	播州	江戸	河内	大坂	京都	筑前	
おの	菅野	能見	能見	山之口	芥川	岩津	梅遠	長岡	萩澤	金澤	湯嶋	見附	宮市	曾根	龜井	博多	道明寺	天満	北野	大宰府
毎月廿五日	福島中天神	和歌山天神	和歌山天神	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町	大坂板町

北水 観世音霊場

京都	土佐	尾州	山崎	越中	愛宕	遠江	尾州	伊勢	讚岐	勢州	衣川	尾州	摂州	泉州	会津	河内	尾州	遠江	城州	
法花寺	世福堂	龍泉寺	大悲山	石動山	月輪	秋葉寺	荒子	白子	弥谷	津	久藏寺	笠寺	摩耶山	水間	示現寺	野寄	甚目寺	八田寺	揚谷	
大坂清水	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山

地亭輯

今井采丸九作



# くりがく見立角力

勸進元屋八田つくり

差漆又西八己たくり

東之方

西之方

大関奥加産ハかたくり

大関くつあの名加ハたまぐり

関脇虫下シはまくり

関脇虫のたハびつくり

小結せんまはからくり

小結むすめはをくり

前頭ゆかはとつくり

前頭ゆかはちつくり

前頭かむはちくり

前頭小使はまくり

前頭このはささくり

前頭このはゆつくり

前頭をくは志中くり

前頭このはこそくり

前頭これ物はそつくり

前頭このはこつくり

前頭をはつくり

前頭このはちつくり

前頭こたつはぬつくり

前頭あきはゆつくり

前頭あたまはなぐり

前頭をはびつくり

前頭子供はらひくり

前頭やはよだれくり

前頭かりはさぐり

前頭かはめくり

## 頭取

くりからつ侍  
くりをち山  
くりはま志の

## 世

くり皮茶  
くりあげ  
くりこを

## 行司

小くり判官  
福夫九里六丁  
つまくり

## 人話

魚そくり



九段龍の形



# 古今関取大男集



本朝節會之始 人皇十代垂仁天皇  
七年戊戌秋七月

同勝負緒之始 同五十五代文德天皇  
天安二年戊寅三月

御前相撲之始 同八十八代高倉院  
安元二年丙申十月

○三津勘進相撲并西關路

仁王仁太助 七尺五寸

白山新三郎 六尺四寸

鬼勝象之助 七尺三寸

○古来大男関取之部

御用木無染清 六尺五寸

大碓灘右門 六尺四寸

兩國市太左衛門 六尺三寸

丸山權太左衛門 六尺三寸

菅谷勘四郎 六尺三寸

大矢嶋新左衛門 六尺三寸

箕嶋太左衛門 六尺三寸

細石嶽峯右衛門 六尺三寸

空 出雲野見宿禰之命 八尺寸

重 山城左兵衛佐紀名虎 七尺寸

盛 伊豆河津三郎祐泰 七尺九寸

谷風権之助 六尺八寸

小野山喜三郎 六尺一寸

九段龍有太夫 七尺六寸

鬼面山谷五郎 六尺二寸

雷電鳥右衛門 六尺五寸

多賀濱音右衛門 六尺五寸

九州山新次 六尺五寸

多平右七右衛門 六尺三寸

拍戶宗五郎 六尺八寸

鬼面山左衛門 六尺二寸

大岬太右衛門 六尺二寸

勢鳳谷五郎 六尺三寸

中股武右衛門 七尺八寸

三寸九分

八尺寸

七尺寸

七尺九寸

六尺八寸

六尺一寸

七尺六寸

六尺二寸

六尺五寸

六尺五寸

六尺三寸

六尺三寸

六尺三寸

六尺三寸

六尺三寸

六尺三寸

# つむぎの懸

いーのい

かーのい

大関

らゝの懸はかゝはむじ  
しゆらふもあつらふ人

大関

あつらふ懸念あつたこ  
入つたあつたあつた人

関脇

かゝの懸はあつたあつた  
あつたあつたあつた人

関脇

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

小結

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

小結

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

前頭

あつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつた人

# わほつこめいじは審附

あかうの方

かうの方

大関 大木より川より

大関 うんくしんくつと見せよ  
おどあをいんせす人

関脇 門はまの  
志申うまことするもの

関脇 後者のすしれたをいんせす人  
志をいんせす人

小結 うつとらう  
あさおさせすもの

小結 せしめうんせす人  
せしめうんせす人

前頭 ころここところせよ  
そめてやころぐる人

前頭 うそせとくしんせす人  
あや

同 ますんでころの  
らんうんせすもの

同 ひんせす人の  
いんせすもの

同 おとこせす  
ふくとくせすもの

同 まいごうの  
せしめうんせすもの

同 こいのういん  
めいんあひおせすもの

同 まをいんせす人の  
いんせすもの

同 まゆせんよつす  
いのせすもの

同 めいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 やせしめうんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 何せしめうんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 やせしめうんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

同 せしめうんせすもの  
いんせすもの

同 志をいんせす人の  
いんせすもの

行司 女つとらうせす  
人せすもの

行司 人のちせす  
つとらうせす人

申本國中  
見渡勘定

# 七分三分の見立

勸進元 神道 五分

差添人 儒者 五分

武士 七十分 百姓 三分

諸職人 三分 諸商人 七分

出家 八分 法尼 二分

名醫 一分 藪醫 九分

學者 一分 不學 九分

能書 一分 無筆 九分

閑取 一分 神司 七分

神社 四分 寺院 六分

淨瑠璃 五分 三味線 三分

歌三弦 七分 心強 五分

玉役者 一分 大根役 五分

たい持 一分 たいの 五分

美貞女 一分 玄妻 五分

本粹 五分 不粹 五分

侍女 一分 飯焼女 八分

後家 五分 娘子 五分

誠忠義 三分 勤心義 七分

乳母 四分 子守女 六分

義理人 一分 不義理 九分

實孝行 一分 表孝行 九分

信義 一分 神心 三分

慈悲道 一分 欲の勝 九分

金持 三分 質置 七分

長者 一分 貧者 八分

器物の部

生類の部

挑燈 九分 釣鐘 一分

とと 五分 すいめ 五分

扇子 七分 團扇 二分

むま 六分 ろし 四分

おん 六分 けし 四分

いぬ 七分 祿こ 三分

煙管 五分 墨筆 五分

あし 八分 のと 二分

おん 六分 けし 四分

あし 八分 のと 二分

煙管 五分 墨筆 五分

あし 八分 のと 二分

ていせい 雑記なる傳授書

**車**

てんご 車は、人の力を用いて物を運ぶものなり。古くは牛馬を用ひしが、今では火を用ひて走るものあり。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**女房**

にやぼう 女房とは、室に仕つかまつる女のことなり。古くは、室に仕つかまつる女のことなり。其の用は、室の事務を司るに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**用心**

うしん 用心とは、事に心をこめて注意することなり。古くは、事に心をこめて注意することなり。其の用は、事に心をこめて注意することなり。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**命**

いのち 命とは、人の生きていることなり。古くは、人の生きていることなり。其の用は、人に生かすに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**取**

とる 取とは、物を手にすることなり。古くは、物を手にすることなり。其の用は、物を手にすることなり。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**捕頭**

とらごしらへ 捕頭とは、捕まるところを司る者なり。古くは、捕まるところを司る者なり。其の用は、捕まるところを司るに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**不利**

ふり 不利とは、事に不利な状態のことなり。古くは、事に不利な状態のことなり。其の用は、事に不利な状態を避けるに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**十男**

とんぼ 十男とは、十人の子供のことなり。古くは、十人の子供のことなり。其の用は、十人の子供を養ふに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**女**

にや 女とは、人の性別のことなり。古くは、人の性別のことなり。其の用は、人に生かすに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**金**

かね 金とは、貨幣のことなり。古くは、貨幣のことなり。其の用は、貨幣を交換するに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**冷**

ひや 冷とは、温度が低い状態のことなり。古くは、温度が低い状態のことなり。其の用は、温度が低い状態を維持するに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**さ**

さ さは、物を切る状態のことなり。古くは、物を切る状態のことなり。其の用は、物を切る状態を維持するに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**道**

みち 道とは、人や物が通る路のことなり。古くは、人や物が通る路のことなり。其の用は、人や物を通る路を維持するに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**取**

とる 取とは、物を手にすることなり。古くは、物を手にすることなり。其の用は、物を手にすることなり。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**心**

こころ 心とは、人の意識のことなり。古くは、人の意識のことなり。其の用は、人に生かすに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**不**

ふ 不とは、事に不利な状態のことなり。古くは、事に不利な状態のことなり。其の用は、事に不利な状態を避けるに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**悪**

あく 悪とは、人に有害な状態のことなり。古くは、人に有害な状態のことなり。其の用は、人に有害な状態を避けるに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**悪**

あく 悪とは、人に有害な状態のことなり。古くは、人に有害な状態のことなり。其の用は、人に有害な状態を避けるに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**高**

たか 高とは、価格が高い状態のことなり。古くは、価格が高い状態のことなり。其の用は、価格が高い状態を維持するに在り。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。

**費**

ひら 費とは、金や物を消費することなり。古くは、金や物を消費することなり。其の用は、金や物を消費することなり。其の形は、大抵圓柱の形をとり、輪を以て之を動かす。其の用は、貨物や人を運ぶに在り。



さいけいむねむいばふ

さいけの方問

女子のあむき

おみさ さいふ

ゆのこふた

上戸 さいふ

江戸中あむき

富士のゆ さいふ

みりせき

あむき さいふ

こむら

せき

あむき さいふ

痛ふ

あむき さいふ

おけ

そ さいふ

つ

あむき さいふ

こ

あむき さいふ

あむき

あむき さいふ

さいかむのさる

男のあむき

あむき さいふ

あむき

ま さいふ

舟

あむき さいふ

あむき

あむき さいふ

あむき

あむき

あむき さいふ

あむき

あむき さいふ

あむき

あむき さいふ

あむき

あむき さいふ

あむき

あむき さいふ

あむき

あむき さいふ

今井秀九作

浮世窓びびり見えぬ

勸進元 ほきまき

義人 むじ

おやまさん

おまさん

大南

大南

園後

園後

小結

小結

花頭

花頭

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

行司

行司

たごすすししけいしん

ほよちんけんけんけん

ちげますちんけんけん

くんけんけんけん

ちんけんけんけん

のびんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

ちんけんけんけん

# 浪花見物獨案內鑑

<p>○初月 難波所賣 南の所賣 産摩社 同 箱崎社 同 四つ辻 同 八幡社 同 三津寺 同 法長寺 同 妙見寺 同 千日寺 同 天満寺 同 瑞龍寺 同 紙園社 同 村の井 同 尾山門 同 廣田社 同 徳子社 同 天下茶屋 同 岸原堂 同 帝徳山 同 真天社 同 大海社 同 徳波社 同</p>	<p>○二日月 高津社 同 美云社 同 生色社 同 八幡社 同 赤天堂 同 月夜寺 同 徳行寺 同 新清寺 同 徳井清寺 同 安徳社 同 多摩社 同 会邦社 同 一心寺 同 景白山 同 雲水寺 同 廣申堂 同 天王寺 同 勝曼院 同 尾山門 同 家徳院 同 真徳社 同 八条堂 同 上之宮 同</p>	<p>○二日月 天満宮 同 光徳寺 同 佛照寺 同 東照宮 同 徳の宮 同 徳川 同 大の宮 同 不動寺 同 徳八幡 同 金山寺 同 徳天社 同 徳桑寺 同 野田屋 同 八百八 同 了徳院 同 徳市面 同</p>	<p>○二日月 新町 同 九軒町 同 すかむ 同 向き 同 後徳堂 同 天保山 同</p>
---	--	--	---

○見世物  
△市の西の角の社  
△市南の角の社  
△市東の角の社  
△市北の角の社  
△市南の角の社  
△市北の角の社  
△市東の角の社  
△市西の角の社

# 京都細見案内鑑

本海北井 松もく山 なる宇治 陸西のり 菊赤山 赤山 後安ら  
 止 三揚 五 七 九 十 十一  
 五 七 九 十 十一  
 五 七 九 十 十一

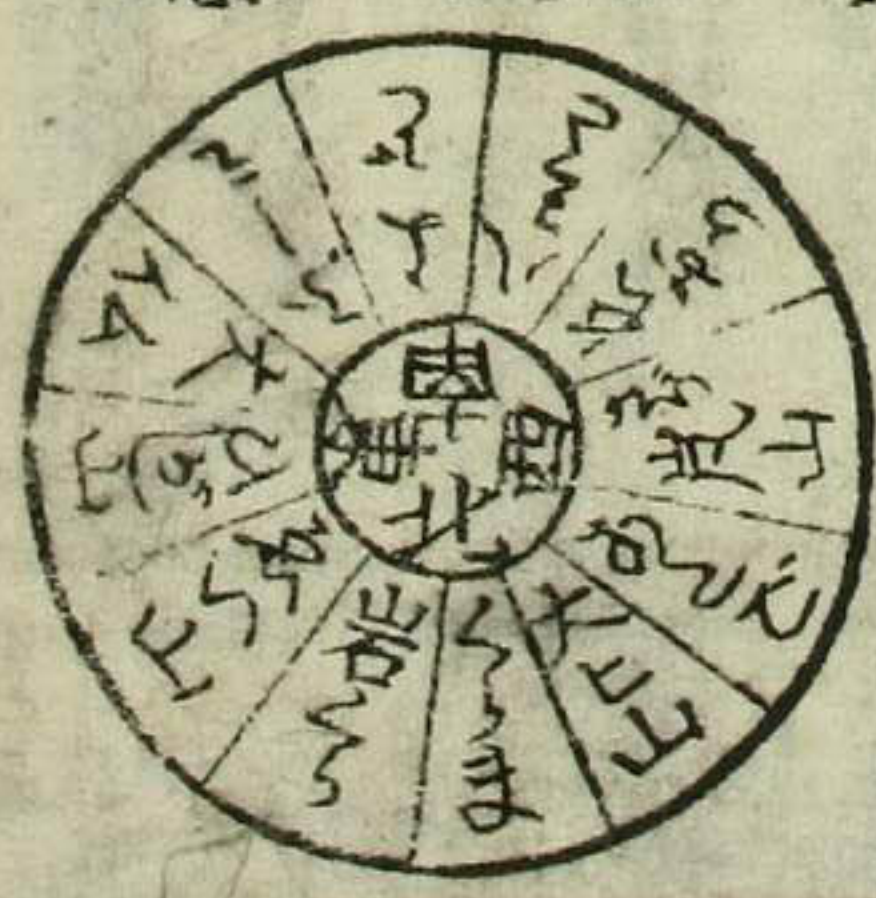
加茂 四月中酒日  
 柳荷 三月中午座  
 今宮 五月七日座  
 菫園 六月七日座  
 大門 五月十日座  
 御霊 七月十日座  
 山王 四月十日座  
 夜夜 五月十日座  
 公堂 五月十日座  
 春真 五月十日座  
 二 二 二 二 二

正月 初日 山王祭  
 二月 初日 山王祭  
 三月 初日 山王祭  
 四月 初日 山王祭  
 五月 初日 山王祭  
 六月 初日 山王祭  
 七月 初日 山王祭  
 八月 初日 山王祭  
 九月 初日 山王祭  
 十月 初日 山王祭  
 十一月 初日 山王祭  
 十二月 初日 山王祭

歳越参詣  
 初日 山王祭  
 二日 山王祭  
 三日 山王祭  
 四日 山王祭  
 五日 山王祭  
 六日 山王祭  
 七日 山王祭  
 八日 山王祭  
 九日 山王祭  
 十日 山王祭  
 十一日 山王祭  
 十二日 山王祭

山王 四月十日座  
 夜夜 五月十日座  
 公堂 五月十日座  
 春真 五月十日座  
 二 二 二 二 二  
 四 六 八 十 十二  
 六 八 十 十二  
 八 十 十二  
 十 十二  
 十二

二 二 二 二 二  
 四 六 八 十 十二  
 六 八 十 十二  
 八 十 十二  
 十 十二  
 十二













前編 無雙良法人人業産



放子 **あまのてん**  
 大気合平あ  
 中ハ月  
 小ハ月



筒井 **双股膏**  
 ぬら玉露白より製  
 のふまんな製



スカ **小気散**  
 美揚や助製



おん **太夫湯**  
 ぬら玉より代紙七面用



万民 **いさのこ**  
 諸國津浦の製



**智恵のたね**  
 本下氏家製

此書上の... 無雙良法... 人人業産... 此書は... 諸國津浦の製... 本下氏家製... 此書は... 諸國津浦の製... 本下氏家製... 此書は... 諸國津浦の製... 本下氏家製...

# 浪花名家三藝封集

大八二	内田儀	長家七	小長七	助日実	中橋隆	字之田隆	所の平隆	竹の平隆	所の平隆	折の平隆	新の平隆	母志七	信丹七	岩大九	三井九	列名	此名	括名
八尺	三萬	基	特	特	特	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合
三萬	八二	基	特	特	特	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合
文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬	文馬
生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大	生大
蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花
蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花
蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花	蘭花

浪花名家三藝封集  
 此集乃浪花名家三藝之精華也  
 凡欲學此藝者不可不讀也  
 浪花名家三藝封集  
 浪花名家三藝封集  
 浪花名家三藝封集



# 將 碁 智 惠 輪 妙 手 段

合	銀	角	合	合	角	合	合	玉	飛	日	銀	飛	飛	日	角	飛
銀	合	銀	銀	角	日	日	玉	合	玉	合	飛	合	合	合	合	銀
合	合	銀	日	日	合	玉	角	飛	角	銀	合	日	日	日	日	合
銀	玉	合	合	合	日	日	日	合	日	銀	銀	飛	銀	銀	角	玉
合	銀	日	角	銀	玉	銀	玉	玉	玉	日	日	合	日	合	銀	合
銀	合	角	銀	銀	日	合	合	飛	飛	玉	銀	日	飛	銀	銀	銀
飛	玉	銀	銀	角	合	日	銀	合	合	飛	飛	銀	銀	日	合	合
銀	合	日	銀	日	銀	日	角	日	角	合	玉	合	合	日	玉	銀

○ 飛と角の度由角と飛の産

歩兵	歩兵	歩兵	歩兵	歩兵	歩兵	歩兵	歩兵	歩兵
角行	銀將	金將	香車	金將	銀將	飛車		
香車	桂馬	銀將	金將	玉將	金將	銀將	桂馬	香車

取りて王金銀えの通のふ並からてへゆ

浪花橋總名寄

A grid of handwritten text entries, organized into columns and rows, containing various names and characters.

浪花素人浄瑠璃座鋪船魁

大関 弁天  
小関 豆佛  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久

蒙御免  
次第  
不同

大関 弁天  
小関 豆佛  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久

大西 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋

三猪  
二造

大西 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋  
大橋 大橋

大関 弁天  
小関 豆佛  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久

三猪  
二造

大関 弁天  
小関 豆佛  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久  
前頭 松久

線味三  
取頭  
男三  
徳齋

差添人  
勸進元  
武右衛門

線味三  
取頭  
龍公  
青王

いしは... (Vertical text on the right margin)



